

防災

「安心して生活できる鹿児島，防災  
で日本一に！」



事業名	原子力防災対策事業 ・ 原子力災害医療対策事業
-----	----------------------------

(所管：地域医療整備課 地域医療係)

継続（緊急被ばく医療施設等整備，防災講習会等開催，原子力防災訓練：昭和58年度）

### 1 目 的

川内原子力発電所で災害が発生した場合の緊急時における周辺住民の安全確保を図るため，医療措置を行う施設や物品の整備・維持管理を行うとともに，原子力災害医療に従事する者を各種研修会へ派遣し，必要な知識の習得に努める。

また，原子力防災訓練において，避難退域時検査及び簡易除染訓練を行う。

### 2 内 容

事業区分	事業主体	事業内容	負担区分
1 緊急被ばく医療施設等整備	県	川内原子力発電所による災害が発生した場合の緊急時における当発電所の周辺地域住民の安全確保のため，医療措置を行う施設及び物品の整備・維持管理を行う。	国 10/10
2 防災講習会開催等	県	川内原子力発電所に係る放射性物質の放出による災害時に原子力災害医療に従事する医師，看護師，保健師及び放射線技師等を各種研修会へ派遣する。	国 10/10
3 原子力防災訓練	県	原子力防災訓練として，避難退域時検査及び簡易除染訓練を行うとともに，他道府県が実施する訓練の視察研修を行う。	国 10/10

### 3 予 算

事業区分	総事業費	県 予 算 額			備 考
		29年度当初	28年度当初	対前年比	
1 緊急被ばく医療施設等整備	千円 66,337	千円 66,337	千円 99,821	% 66.5	
2 防災講習会開催等	千円 13,989	千円 13,989	千円 11,660	% 120.0	
3 原子力防災訓練	千円 5,704	千円 5,704	千円 2,528	% 225.6	

4 29年度実施計画及び事業実績

事業区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1 緊急被ばく医療施設等整備	<p>緊急被ばく医療施設（北薩地域振興局第2庁舎汚染検査除染室）及び原子力災害医療に必要な物品の整備・維持管理に努める。</p> <p>また、済生会川内病院の二次被ばく医療施設の運営費を助成する。</p>	<p>緊急被ばく医療施設（北薩地域振興局第2庁舎汚染検査除染室）及び原子力災害医療に必要な物品の整備・維持管理に努めた。</p> <p>また、済生会川内病院の二次被ばく医療施設の運営費を助成した。</p>	<p>緊急被ばく医療施設（北薩地域振興局第2庁舎汚染検査除染室）及び原子力災害医療に必要な物品の整備・維持管理に努めた。</p> <p>また、済生会川内病院の二次被ばく医療施設の運営費を助成した。</p>
2 防災講習会開催等	<p>原子力災害医療の関係者を各種研修会へ派遣し、原子力災害時における医療措置等に関する知識の修得、技能の向上に努める。</p>	<p>原子力災害医療の関係者を各種研修会へ派遣し、原子力災害時における医療措置等に関する知識の修得、技能の向上に努めた。</p>	<p>原子力災害医療の関係者を各種研修会へ派遣し、原子力災害時における医療措置等に関する知識の修得、技能の向上に努めた。</p>
3 原子力防災訓練	<p>原子力防災訓練において、避難退域時検査及び簡易除染訓練を行い、原子力災害時における医療措置等の習熟に努める。</p>	<p>原子力防災訓練において、避難退域時検査及び簡易除染訓練を行い、原子力災害時における医療措置等の習熟に努めた。</p>	<p>原子力防災訓練において、避難退域時検査及び簡易除染訓練を行い、原子力災害時における医療措置等の習熟に努めた。</p>

事業名	原子力防災対策事業 ・ 災害時緊急医薬品等確保事業 (安定ヨウ素剤整備事業)
-----	--

(所管：薬務課 麻薬係)

継続（平成6年度）

### 1 目 的

川内原子力発電所による災害が発生した場合の緊急時における発電所の周辺地域住民の安全確保のために、必要となる安定ヨウ素剤の整備・維持管理及び事前配布を行う。

### 2 内 容

事業区分	事業主体	事業内容	負担区分
災害時緊急医薬品等確保事業(安定ヨウ素剤整備事業)	県	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定ヨウ素剤の説明会を開催し、事前配布を行う。</li> <li>安定ヨウ素剤等関係資機材の配備を行う。</li> </ul>	国 10/10

### 3 予 算

事業区分	総事業費	県 予 算 額			備 考
		29年度当初	28年度当初	対前年比	
災害時緊急医薬品等確保事業(安定ヨウ素剤整備事業)	21,128 千円	21,128 千円	13,677 千円	154.5 %	

### 4 29年度実施計画及び事業実績

事業区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
災害時緊急医薬品等確保事業(安定ヨウ素剤整備事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定ヨウ素剤の説明会を開催し、事前配布を実施</li> <li>安定ヨウ素剤等関係資機材の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定ヨウ素剤の説明会を開催し、事前配布を実施</li> <li>事前配布した安定ヨウ素剤の更新配布</li> <li>安定ヨウ素剤等関係資機材の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定ヨウ素剤の説明会を開催し、事前配布を実施</li> <li>安定ヨウ素剤等関係資機材の配備</li> </ul>

事業名	災害時医療等支援事業 ・ 災害派遣精神医療チーム体制整備事業
-----	-----------------------------------

(所管：障害福祉課 精神保健福祉係)

新規（平成29年度）

### 1 目的

災害時の精神科医療の提供体制の整備を図るため、大規模災害が発生した場合、被災地域へ派遣され、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT)を整備する。

### 2 内容

事業区分	事業主体	事業内容	負担区分
災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備事業	県	行政機関、精神科医等からなる運営委員会を設置し、DPAT 構成員の登録基準や実施要綱、活動マニュアルの作成、緊急時の役割の設定等を行うことにより、DPAT の組織化を図り、併せて派遣に必要な機器を整備する。	国 1/2 県 1/2

### 3 予算

事業区分	総事業費	県 予 算 額			備考
		29年度当初	28年度当初	対前年比	
災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備事業	千 2,350	千 2,350	千 -	%	新規

### 4 29年度実施計画及び事業実績

事業区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備事業	運営委員会の設置 庁内検討会の開催 DPAT の整備 派遣に必要な機器の整備 国主催の DPAT 研修への参加	-	-

事業名	災害時医療等支援事業 ・ 災害時健康危機管理支援チーム養成研修事業
-----	--------------------------------------

(所管：地域医療整備課 地域医療係)

新規

### 1 目 的

現在、国において、被災地に設置される健康危機管理組織の指揮調整機能を補佐すること等を目的に、行政機関の医師、保健師などで構成され被災地へ派遣するチーム（災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT））の整備検討が進められている。また、昨年4月に発生した熊本地震においては、各県が被災地の支援に従事したところであり、今後、広域災害時における各県間の連携の必要性が高まっていくことが予想されることから、国の動きを踏まえ、DHEAT 構成員の養成を早急に進めることとする。

なお、九州では、大分県（H24）及び長崎県（H27）において DHEAT が設置されており、佐賀県において設置に向けた動きがある。

### 2 内 容

事業区分	事業主体	事業内容	負担区分
災害時健康危機管理支援チーム養成研修事業	県	国主催研修への派遣及び県主催研修の実施	県 10/10

### 3 予 算

事業区分	総事業費	県 予 算 額			備 考
		29年度当初	28年度当初	対前年比	
災害時健康危機管理支援チーム養成研修事業	千円 1,334	千円 1,334	千円 —	% 皆増	

### 4 29年度実施計画及び事業実績

事業区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
災害時健康危機管理支援チーム養成研修事業	(1) 国主催研修への派遣 ・ スタッフ研修への職員派遣 (5名：保健師、薬剤師、化学Ⅱ、栄養士、事務等) ・ リーダー研修への職員派遣 (4名：医師) (2) 県主催研修の実施	—	—